

複合アレビアチン配合錠

【この薬は？】

販売名	複合アレビアチン配合錠 ALEVIATIN with PHENOBARBITAL
一般名	フェニトイン・フェノバルビタール Phenytoin・Phenobarbital
含有量 (1錠中)	フェニトイン 67mg、フェノバルビタール 33mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗てんかん薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳の過剰な興奮をはずめて、てんかん発作を抑えるはたらきがあります。
- ・次の目的で処方されます。
 - てんかんのけいれん発作**
 - 強直間代発作(全般けいれん発作、大発作)**
 - 焦点発作(ジャクソン型発作を含む)**
 - 自律神経発作**
 - 精神運動発作**
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去に複合アレビアチン配合錠に含まれる成分やヒダントイン系化合物またはバルビツール酸系化合物で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・心臓に重篤な障害のある人
 - ・肝臓に重篤な障害のある人、腎臓に重篤な障害のある人
 - ・肺に重篤な障害のある人
 - ・急性間欠性ポルフィリン症の人
 - ・ポリコナゾール、タダラフィル（肺高血圧症に使用している場合）、リルピビリン、アスナプレビル、ダクラタスビル、バニプレビル、マシテンタン、ソホスブビルを使用している人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・高齢の人
 - ・虚弱な人、呼吸機能の低下している人
 - ・頭部外傷後遺症の人または進行した動脈硬化症の人
 - ・心臓に障害のある人、肝臓に障害のある人、腎臓に障害のある人
 - ・血液障害のある人
 - ・甲状腺機能低下症の人
 - ・薬物過敏症のある人
 - ・アルコール中毒のある人
 - ・薬物依存の傾向のある人または過去に薬物依存になった人
 - ・重篤な神経症の人
 - ・糖尿病の人
- この薬には併用してはいけない薬[ポリコナゾール（ブイフェンド）、タダラフィル（肺高血圧症に使用している場合：アドシルカ）、リルピビリン（エジュラント、コムプレラ配合錠）、アスナプレビル（スンベプラ）、ダクラタスビル（ダクルインザ）、バニプレビル（バニヘップ）、マシテンタン（オプスミット）、ソホスブビル（ソバルディ、ハーボニー配合錠）]や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

1日1～4錠を分けて飲みます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

呼吸抑制（息苦しい、息切れ）、眼振（めまい）、構音障害（ぎこちない話し方、発音が不明瞭になる）、運動失調（手足の運動がうまくできない）、眼筋麻痺（眼を自由に動かせない）などの症状があらわれることがあります。その他の徴候として、振戦（手が震える、足が震える）、過度の緊張亢進、嗜眠（強い刺激を与えないと目覚めない）、言語障害、嘔気（吐き気）、嘔吐（おうと）があらわれることがあります。重症の場合は、昏睡状態、血圧低下になり、呼吸障害、血管系の抑制、肺の合併症、腎障害により死亡することがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用中は、薬剤の血中濃度を測ることがあります。
- ・この薬を続けて使用している場合に、急に薬を減量したり飲むのを中止したりすると、てんかん発作をくりかえし、なかなか回復しない状態（てんかん重積状態）があらわれることがあります。高齢の人、虚弱な人は特に注意してください。この薬を中止する場合には、徐々に減量されます。自分の判断で薬を減量したり飲むのを中止したりせずに、医師の指示通りに飲んでください。
- ・この薬の使用中は、定期的に肝機能検査、腎機能検査、血液検査が行われることがあります。
- ・眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下がおこることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・アルコール飲料、セイヨウオトギリソウを含有する食品はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゅうかいしょう（トキシック エピダーマル ネクロライシス：ていーいーえぬ）	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱（すいほう））、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲

症候群 ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	不振、赤い発疹 (ほっしん)、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
紅皮症 (剥脱性皮膚炎) こうひしょう (はくだつせいひふえん)	発熱、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる
過敏症症候群 かびんしょうしょうこうぐん	さむけ、ふらつき、汗がたくさん出る、発熱、意識がうすれる、考えがまとまらない、息苦しい、かゆみ、発疹、しびれ、判断力の低下
SLE 様症状 エスエルイーようしょうじょう	からだがだるい、関節の痛み、発熱、顔に蝶型の赤い斑点
依存性 いぞんせい	薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などを起こす
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、鼻血、歯ぐきの出血、階段や坂を上る時の動悸 (どうき) や息切れ、息切れ、動悸、あおあざができる、出血が止まりにくい
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
単球性白血病 たんきゅうせいはっけつびょう	貧血、歯ぐきのはれ、出血しやすい
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	からだがだるい、ふらつき、疲れやすい、立ちくらみ、めまい、頭が重い、白目が黄色くなる、動く時の動悸や息切れ、皮膚が黄色くなる、褐色尿
赤芽球癆 せきがきゅうろう	からだがだるい、めまい、息切れ、動悸
劇症肝炎 げきしょうかんえん	発熱、意識がなくなる、意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐 (おうと)、食欲不振、羽ばたくような手のふるえ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、判断力の低下
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
呼吸抑制 こきゅうよくせい	息苦しい、息切れ
悪性リンパ腫 あくせいりんぱしゅ	リンパ節のはれ、寝汗をかく、体重が減る、発熱、食


	欲不振
リンパ節腫脹 りんぱせつしゅちょう	リンパ節のはれ
小脳萎縮 しょうのういしゆく	めまい、ぎこちない話し方、発音が不明瞭になる、手足の運動がうまくできない、転倒しやすい
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	からだのだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはれぼったい、息苦しい、尿がない、尿量が減る
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	関節の痛み、発熱、頭痛、膨れあがる感じ、血尿
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだのだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、発熱、高熱、さむけ、ふらつき、汗がたくさん出る、貧血、疲れやすい、立ちくらみ、リンパ節のはれ、寝汗をかく、体重が減る、脱力感、からだのむくみ、38℃以上の発熱、ふるえ、手足の運動がうまくできない
頭部	意識がうすれる、考えがまとまらない、めまい、頭が重い、意識がなくなる、意識の低下、頭痛、判断力が低下する
顔面	顔に蝶型の赤い斑点、鼻血
眼	まぶたや眼の充血、結膜のただれ、白目が黄色くなる、眼がはれぼったい
耳	耳鳴り
口や喉	ひどい口内炎、唇や口内のただれ、歯ぐきの出血、のどの痛み、歯ぐきのはれ、吐き気、嘔吐、から咳、飲み込みにくい、ぎこちない話し方、発音が不明瞭になる
胸部	息苦しい、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、息切れ、動悸、動く時の動悸や息切れ、吐き気
腹部	食欲不振、吐き気、膨れあがる感じ
手・足	関節の痛み、羽ばたくような手のふるえ、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、転倒しやすい
皮膚	赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる、かゆみ、発疹、あおあざができる、皮下出血、皮膚が黄色くなる、

部位	自覚症状
	全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）
筋肉	筋肉の痛み、筋肉のこわばり
尿	尿が褐色になる、尿の色が濃くなる、尿が赤褐色になる、尿がでない、尿量が減る、血尿、褐色尿
その他	陰部の痛み、しびれ、判断力の低下、薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などを起こす、出血が止まりにくい、出血しやすい

【この薬の形は？】

販売名	複合アレビアチン配合錠
形状	円形の錠剤（割線入り） 
直径	8.0mm
厚さ	3.6mm
重さ	0.18g
色	白色
識別コード	P645

【この薬に含まれているのは？】

販売名	複合アレビアチン配合錠
有効成分	フェニトイン・フェノバルビタール
添加物	トウモロコシデンプン、アラビアゴム末、ステアリン酸マグネシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：大日本住友製薬株式会社

(<http://www.ds-pharma.co.jp/>)

くすり情報センター

電話：0120-885-736

受付時間：9時～17時30分

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)